

地理歴史(世界史) 解答と解説

一般選抜〈前期 3 教科型〉

解説

傾向

例年通り、本学の世界史試験は前期（2月1～3日）のみの実施であったが、今年度からは試験時間が80分から90分に変更となった。しかしながら、問題そのものの傾向に大きな変化はない。全体は5つの大問からなり、その内訳は第1問と第3問がテーマ史、第2問がイスラーム史、第4問がアジア史、第5問が欧米を中心とする近現代史となっている。第1問と第3問のテーマ史は、特定の地域や国、あるいは地名や食べ物の来歴をベースとしつつ、出題対象は、欧米に加えて、イスラーム世界やアジアといった領域も視野に収めるとともに、時代的にも古代史から近現代史まで幅広い出題が意識されている。なお、本学の入試では、政治史だけでなく、経済史や文化史、または国際関係史など、多様な分野からバランス良く出題することを目指していることも付言しておきたい。また毎年、第5問を中心に米ソが大きく関わる戦後史が出題されている点にも注意を要されたい。その他、大問につき1問程度、地図問題が出題されていることも本学入試の一つの傾向である。以上に加えて、今年度新たに出题されたのが、リード文の理解を問う問題である（2日目・第4問・問1／3日目・第3問・問1）。とはいえ、落ち着いて文章を読めば、難なくクリアできるように思われる。今年度より、試験時間は延びたが、問題の総量は従来から変更はないので、今後は設問内容にかかわらずリード文にもじっくり目を通してほしい。全体として、細かな知識を単に問う問題はなく、あくまで教科書の記述に準拠した標準的な問題で構成されている点を前提としてほしい。

対策

上に述べた「傾向」を踏まえると、何より広範な基礎知識を着実に積み上げていくことがまず合格への近道となる。これを前提とした上で、特に以下の点に留意されたい。実際、問題の大半は何らかのかたちで正誤を問うものであるが、なかでも、年代に関わる問題の正答率は概ね高くない。それゆえに、差がつきやすいポイントとなっている。各年代の正確な知識の会得はもちろんのこと、時系列に関わる物事の前後関係や、複数の地域に跨って同時代の状況を捉えることなどを意識して学習に臨んでほしい。本学の世界史入試では、地図問題も定番で出題されるので、

学習の際は、ときには地図を片手に空間的理解を、ときには年表を片手に時間的理解を深め、いつどこで何がどのような流れで起こったのかを立体的に捉えてもらいたい。

以下、正答率が特に低かった問題をピックアップする。

・1日目・第2問・問10

1987年の出来事を答える問題で、正解は①。インティファダとは、パレスチナ人によるイスラエルへの抵抗運動のこと。ちなみに、②は1993年、③は2002年、④は1990年であり、正答以外は全て90年代以降となる。

・1日目・第3問・問3

3つの文章の正誤を答える問題で、正解は⑥の全て誤り。Xのボリス建設期は、前6世紀ではなく前8世紀。Yは「奴隷制は十分に発達せず」が誤り。Zに関して、スパルタはイオニア系ではなく、ドーリア系である。

・2日目・第1問・問1

「四川」に関する2つの文章の正誤を答える問題で、正解は④のどちらも誤り。Xについて、三国時代、四川を支配したのは呉ではなく蜀。Yは四川暴動について述べており、これは義和団戦争ではなく辛亥革命を導くこととなった。「1911年」というのも重要なヒントとなっている。

・2日目・第5問・問5

レーニンについて述べた文章中の語句の正誤を答える問題で、正解は⑥の全て誤り。社会主義政権の樹立に至ったのは十月（十一月）革命で、Xの二月（三月）革命は、その前の帝政を打倒した革命。革命の意義を正確に理解しよう。十月（十一月）革命後、レーニンが発したのは「平和に関する布告」で、Yの「四月テーゼ」は、当該革命よりも前のこと。Zの「コミンフォルム」はソ連の情報交換機関で、設立は1947年。社会主義革命の拡大を目指したのは、第3インターナショナルとも呼ばれる「コミンテルン」である。

・3日目・第4問・問6

3つの文章の正誤を答える問題で、正解は②。XとYは正しいが、Zは誤りとなる。安史の乱のあとに開始された税制は、資産額に応じて夏と秋に課税する両税法。「地稅と人頭稅を一括して銀納させる税制」は、清代の地丁銀制のこと。Yの文章は誤りと迷うかもしれないが、列挙されている宗教は全て唐代の長安で信仰されている。

解答

環境学部：全学科
メディア情報学部：社会メディア学科
デザイン・データ科学部：デザイン・データ科学科
都市生活学部：都市生活学科

[令和8年2月1日(日)実施]

第1問

1. ⑥ 2. ③ 3. ③ 4. ② 5. ④ 6. ④ 7. ⑤
8. ① 9. ③ 10. ④

第2問

11. ③ 12. ④ 13. ③ 14. ② 15. ① 16. ④
17. ② 18. ② 19. ② 20. ①

第3問

21. ⑤ 22. ② 23. ⑥ 24. ④ 25. ① 26. ③
27. ① 28. ② 29. ④ 30. ⑤

第4問

31. ⑥ 32. ② 33. ② 34. ③ 35. ① 36. ③
37. ① 38. ③ 39. ② 40. ⑥

第5問

41. ④ 42. ① 43. ① 44. ③ 45. ② 46. ①
47. ② 48. ⑤ 49. ③ 50. ④

[令和8年2月2日(月)実施]

第1問

1. ④ 2. ⑥ 3. ② 4. ③ 5. ① 6. ① 7. ③
8. ⑤ 9. ③ 10. ③

第2問

11. ① 12. ④ 13. ④ 14. ⑥ 15. ② 16. ③
17. ④ 18. ② 19. ① 20. ③

第3問

21. ③ 22. ① 23. ⑥ 24. ① 25. ③ 26. ⑤
27. ② 28. ④ 29. ⑤ 30. ③

第4問

31. ③ 32. ② 33. ① 34. ④ 35. ③ 36. ②
37. ① 38. ③ 39. ② 40. ⑤

第5問

41. ⑤ 42. ③ 43. ① 44. ② 45. ⑥ 46. ③
47. ⑤ 48. ④ 49. ③ 50. ③

[令和8年2月3日(火)実施]

第1問

1. ③ 2. ⑥ 3. ② 4. ② 5. ① 6. ② 7. ④
8. ③ 9. ② 10. ④

第2問

11. ③ 12. ② 13. ③ 14. ② 15. ④ 16. ④
17. ① 18. ④ 19. ① 20. ①

第3問

21. ② 22. ④ 23. ② 24. ③ 25. ③ 26. ⑤
27. ④ 28. ⑥ 29. ④ 30. ①

第4問

31. ② 32. ③ 33. ① 34. ② 35. ① 36. ②
37. ① 38. ① 39. ⑥ 40. ②

第5問

41. ② 42. ④ 43. ⑤ 44. ② 45. ① 46. ⑥
47. ③ 48. ② 49. ③ 50. ②

地理歴史(日本史) 解答と解説

一般選抜〈前期 3 教科型〉

解説

傾向

2月1～3日の前期入試科目として3日間、出題される形が定着しているが、本年度はいくつか変更点があった。まず、試験時間が80分から90分に延びた。じっくり考えてもらうことを意図したものである。それとは別に、3日目の入試では、1限目に選択した教科によっては日本史を受験できない場合がある。ただ、大問6つ・合計50問のマークシート形式であること、3日間ともテーマ史1問に、古代・中世・近世・近代・現代(近現代)の6つで大問が構成されていることは、これまでと変わりはない。

政治史だけでなく、文化史や宗教史も問う網羅的な構成をとる。特に地図問題・史料問題がちりばめられており、史料問題は内容の読解が求められる点に特色がある。教科書を踏まえた問題だが、註釈や図表からの出題もみられる。空欄補充(正答選択)以外に、内容の正誤問題・年代並べ替え問題も交えている。

基礎力を問うことは大前提だが、あまりに細かい知識を問うのではなく、正確な読解や歴史の推移への理解を問うことを意識している。ただ思考力を問う問題を増やした結果、かえって基礎的な問題の取りこぼしが目立った。その点を反省し、本年度は問題構成をリバランスした。それにより、平均点は改善している。知識を問う問題と、思考力を問う問題のバランス調整は、次年度も続けて行う予定である。

対策

あくまで出題内容は教科書からであり、教科書に沿った復習を重ねることが第一だが、註釈部分からの出題も含まれる。また地図・史料問題で用いられているものには、教科書未掲載のものが多い。特にそこから、歴史的な流れを理解しているか、書き下しにした史料(歴史書や日記、エッセイ)から、必要な情報を読み取れるかを問う問題が出されている点、注意が必要である。

こうした史料問題・地図問題をはじめ、理解力を問うた問題の正答率はばらつきが大きかった。文化史・美術史系の問題に取りこぼしが目立つのは、例年通りといえる。

1日目、第1問の間4は、正答率は過半数を超えたが、誤答に偏りがみられた。出題史料である『建武式目』は室町幕府成立過程で編まれたものであり、後醍醐天皇の命令によるものではない。間8では、隠元隆琦が宇治で開いた

寺院を妙心寺とする誤答が目立った。同寺は、臨済宗の古刹である。第2問の間5は、平安前期の貴族の結婚形態の特徴に、女子一期分を正解とする誤答が思ったより多かった。女子一期分は、鎌倉後期よりみられるものだが、対となる正解文である妻問婚とは相反する習慣であることを理解して欲しい。

全体に中世・近世および戦後史の正答率が悪い傾向がみられたが、必修科目である『歴史総合』が江戸時代の途中から扱う影響であろうか。第3問の間1(後白河院政期の並べ替え問題)は、正答率がやや低かった。保元・平治の乱後の政治情勢を問うたもので、それぞれがどの戦乱と結びつくかを考えて欲しかった。第4問の間1は自治都市(堺)の場所を問う地図問題であったが、滋賀県の坂本を選ぶ誤答が目立った。間8は「薩摩藩主である島津久光」が誤りであるが(久光は藩主の父)、非常に難解であったようだ。幕末における江戸幕府体制の混乱を理解できているかが出題意図である。

第5問は問4の正岡子規の「歌よみに与ふる書」での取りこぼしが目立った。子規は西洋思想の取り入れを主張しており、この文中でも外国からの軍艦・大砲購入を「日本の守りを固めるため」と肯定的に述べている。第6問の間1の誤答に「北支事変」が集中した点は意外であった。北支事変は、日中戦争の初期の呼称で、日本の満洲進出後の話である。満洲の遼東半島(関東州)を獲得したのは日露戦争の結果である点、理解できているかを問うたものである。フランス領インドシナの場所を地図で問うた問4は、イギリス領マレーシアとする誤答が目立った。史料問題である問6は、「学徒出陣」とする誤答が多かった。対象者は「徴用」されて「海軍工廠」に赴いているだけではなく、年齢も満15歳で学徒出陣の対象年齢(大学生)ではないなど、いくつかヒントはいれたつもりである。

2日目は、第1問の間1の正答率が低めであった。「四隅突出型墳丘墓」を誤りとする解答が多かったが、この文章には特に誤りは無い。古代もやや難しかったようで、第2問の間7は、解答がまんべんなくばらけた。正答(誤った文章)である①は、清和天皇と陽成天皇の即位順序が逆である他、清和天皇の即位経緯が異なっている。第5問の間1も解答が分かれた。第6問の間4、労働運動・労働組合並べ替え問題もばらつきがみられたが、労働組合法制定を最初に配置できていた解答は多く、残り2つの順序で

迷ったようである。

3日目は、第2問の間1で解答がばらけた。俸禄の問題は難解であったかもしれないが、蔭位の制は一部貴族のみの特権である点、注意して欲しい。第3問の間7、「御成敗式目」の条文を尋ねた問いでは、江戸幕府の「武家諸法度」第一条を選ぶ誤答が多くみられたのは残念である。第4問の間1、信長が美濃で樂市令を出した地名を問うた問題も、予想以上に解答がばらけた上、「敦賀」とする誤答が目立ったのは意外であった。ただ3日目については、平均点もよく、おおよそ解けていたといえる。

例年同様、暗記だけでは解けない問題が含まれると述べたが、個々の問題傾向に変わりはない。年代並べ替え問題は、西暦年の単純な暗記を求めているわけではなく、歴史

の流れを理解できているかを問うていることは、本解説をみても明らかだろう。

最後に、本学では毎年近現代史からの出題がみられ、戦後史も対象であること、日本史に関わる海外情勢についても出題される傾向がある。歴史総合を出題範囲に含めているが、もともと日本と関わる海外情勢も、教科書の範囲で出題してきた。この点は今後も変わりはないが、日本史とまったく関係のない問題を出題することは想定していない。

いずれにせよ、自分の用いた教科書（歴史総合・日本史探究）を丁寧に復習し、『日本史用語集』などを活用して基礎力を高めた上で、大学共通テストのあり方を念頭に置き、歴史上の出来事の関連性を考える力を養ってもらいたい。

解答

環境学部：全学科
メディア情報学部：社会メディア学科
デザイン・データ科学部：デザイン・データ科学科
都市生活学部：都市生活学科

[令和8年2月1日(日)実施]

第1問

51. ④ 52. ① 53. ② 54. ③ 55. ② 56. ⑤
57. ③ 58. ② 59. ④

第2問

60. ③ 61. ④ 62. ① 63. ② 64. ② 65. ①
66. ④ 67. ③

第3問

68. ⑥ 69. ② 70. ② 71. ④ 72. ① 73. ④
74. ③ 75. ③

第4問

76. ④ 77. ③ 78. ③ 79. ① 80. ③ 81. ②
82. ④ 83. ④

第5問

84. ③ 85. ④ 86. ② 87. ③ 88. ⑤ 89. ①
および③* 90. ④ 91. ①

第6問

92. ③ 93. ① 94. ④ 95. ② 96. ⑤ 97. ②
98. ② 99. ③ 100. ①

[令和8年2月2日(月)実施]

第1問

51. ① 52. ④ 53. ③ 54. ④ 55. ③ 56. ①
57. ④ 58. ① 59. ④

第2問

60. ① 61. ② 62. ① 63. ③ 64. ② 65. ④
66. ① 67. ①

第3問

68. ① 69. ② 70. ④ 71. ① 72. ③ 73. ③
74. ③ 75. ④

第4問

76. ④ 77. ① 78. ④ 79. ② 80. ③ 81. ③
82. ④ 83. ⑥

第5問

84. ③ 85. ③ 86. ④ 87. ③ 88. ① 89. ④
90. ② 91. ③ 92. ②

第6問

93. ① 94. ④ 95. ① 96. ⑤ 97. ③ 98. ①
99. ② 100. ③

[令和8年2月3日(火)実施]

第1問

51. ④ 52. ① 53. ④ 54. ④ 55. ② 56. ③
57. ④ 58. ① 59. ③

第2問

60. ③ 61. ③ 62. ② 63. ④ 64. ④ 65. ③
66. ② 67. ③

第3問

68. ② 69. ③ 70. ② 71. ③ 72. ③ 73. ③
74. ② 75. ③

第4問

76. ① 77. ② 78. ① 79. ① 80. ⑤ 81. ②
82. ④ 83. ③

第5問

84. ③ 85. ④ 86. ④ 87. ① 88. ④ 89. ③
90. ② 91. ② 92. ②

第6問

93. ④ 94. ③ 95. ④ 96. ③ 97. ③ 98. ①
99. ③ 100. ③

*訂正

令和8年2月1日(日)実施 第5問 問題番号89について

問題文に不備があり、正解と判断できる解答がふたつありました。①および③を正解と扱います。